

三重県経済の動向（2023 年 1 月） No. 544

【現在の景気】 持ち直しの動きがみられる（※10 月～12 月の指標より（一部除く））

生産は部材供給制約の影響等により足踏み状態となっているが、雇用は持ち直しており、設備投資、個人消費も持ち直しの動きが続いている。

<当月のポイント>

- ・生産指数（11 月）は前月比 5 か月ぶり上昇。電子、輸送、プラスチック製品など上昇。
- ・有効求人倍率は 1.43 倍で全国を上回って推移。
- ・百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストアの販売額（11 月）は前年比増加。乗用車新車販売（12 月）は 4 か月連続の増加。県内主要観光施設の正月三が日の入込客数は前年比約 1 割増加。

【当面の見通し】 持ち直し基調も、下振れリスクは多くそのペースは緩やかにとどまる

感染対策と社会経済活動を両立させていく中で、設備投資や個人消費等に上向きの動きがみられ、景気は持ち直し基調が続くとみられるが、部材供給制約や原材料価格の高騰などの下振れリスクの影響が不安定な海外情勢の下で継続、物価高もあり、そのペースは緩やかにとどまる見通し。

項目	基調判断			変化方向	頁
	【前々月】	【前月】	【今月】		
現在の景気 （総合判断）	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	—
1. 景気動向指数 ／企業の景況感	改善／持ち直しの動きがみられる	足踏み／持ち直しの動きがみられる	足踏み／持ち直しの動きがみられる	→	2
2. 生産	足踏み	足踏み	足踏み	→	3
3. 輸出	持ち直している	足踏み	足踏み	→	3
4. 設備投資	一部で持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	4
5. 企業倒産	横ばい圏内となっている	横ばい圏内となっている	横ばい圏内となっている	→	4
6. 雇用	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	5
7. 賃金	足踏み	足踏み	足踏み	→	6
8. 個人消費	一部で持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	6
9. 住宅投資	足踏み	足踏み	足踏み	→	7
10. 公共投資	持ち直しの動きがみられる	持ち直している	持ち直している	→	8

※1 網掛けは前月より基調判断を変更したもの。変化方向は前月の基調判断に対する今月の基調判断の修正方向。

※2 採用指標は作成時点で発表済みの最新値を使用している。

<担当> HRI 株式会社百五総合研究所

コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上、片山 TEL 059-228-9105

1. 景気全般

(1) 景気動向指数

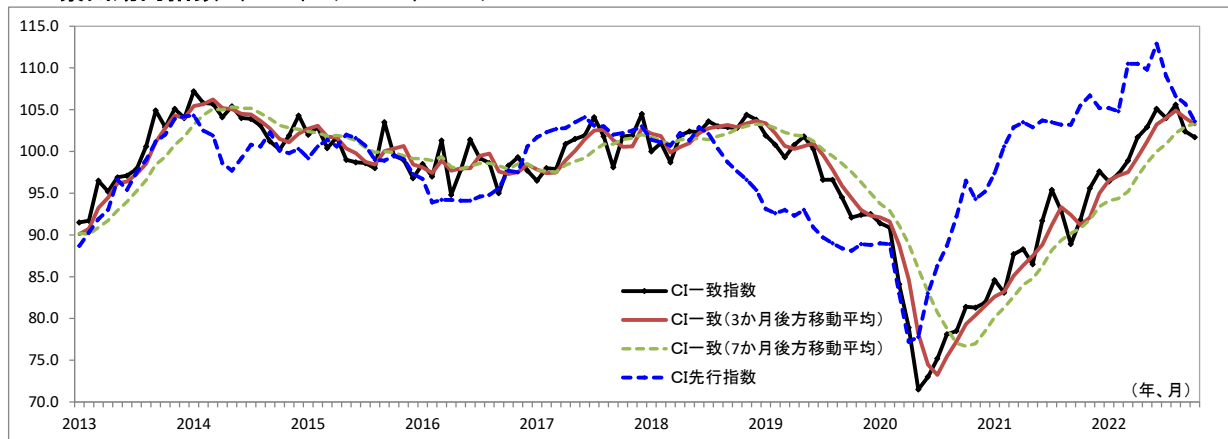
【現状】＜足踏み＞

○10月の景気動向指数（C I）一致指数は、101.7 で前月差 $\Delta 0.7$ ポイント。3か月後方移動平均（ $\Delta 0.77$ ポイント）は2か月連続の下降、7か月後方移動平均（ $+0.40$ ポイント）は24か月連続の上昇となり、「足踏み」を示している。

【見通し】

○10月の景気動向指数（C I）先行指数は、103.6 で前月差 $\Delta 2.1$ ポイント。3か月後方移動平均（ $\Delta 1.80$ ポイント）は4か月連続の下降、7か月後方移動平均（ $\Delta 0.99$ ポイント）は26か月ぶりの下降となった。

■景気動向指数（C I）（2015年=100）



※上記の「CIを用いた基調判断」は三重県が内閣府の判断基準に準じて行った判断。

※「3か月後方移動平均」は足下の基調変化を表し、「7か月後方移動平均」は定着しつつある基調を表す。

資料：三重県「三重県景気動向指数（C I）」

(2) 県内企業の景況感

前月より
更新なし

【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

○当社景況調査（半期）では、22年度上期の業況判断BSIは $\Delta 3.3$ と、マイナス幅はやや縮小。

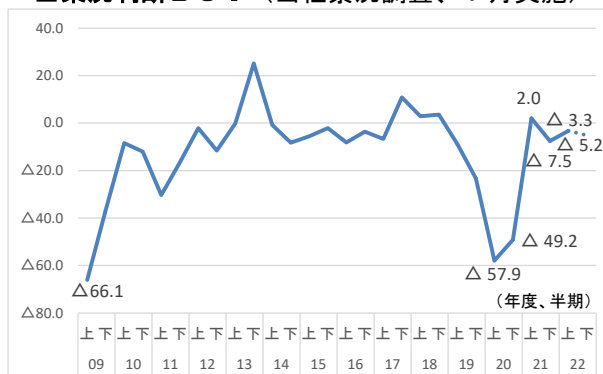
○法人企業景気予測調査（四半期）では、22年10-12月期の景況判断BSIは $+8.0\%$ ポイントの「上昇」超。

【見通し】

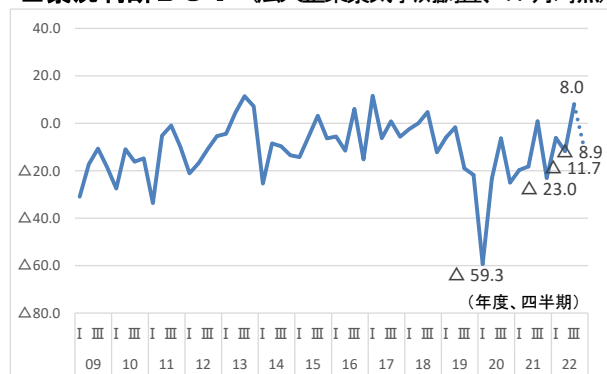
○当社景況調査の22年度下期（見通し）の業況判断BSIは $\Delta 5.2$ と、ほぼ横ばいの見通し。

○法人企業景気予測調査の23年1-3月期（見通し）の景況判断BSIは $\Delta 8.9\%$ ポイントで「下降」超に転じる見通し。

■業況判断BSI（当社景況調査、7月実施）



■景況判断BSI（法人企業景気予測調査、11月時点）



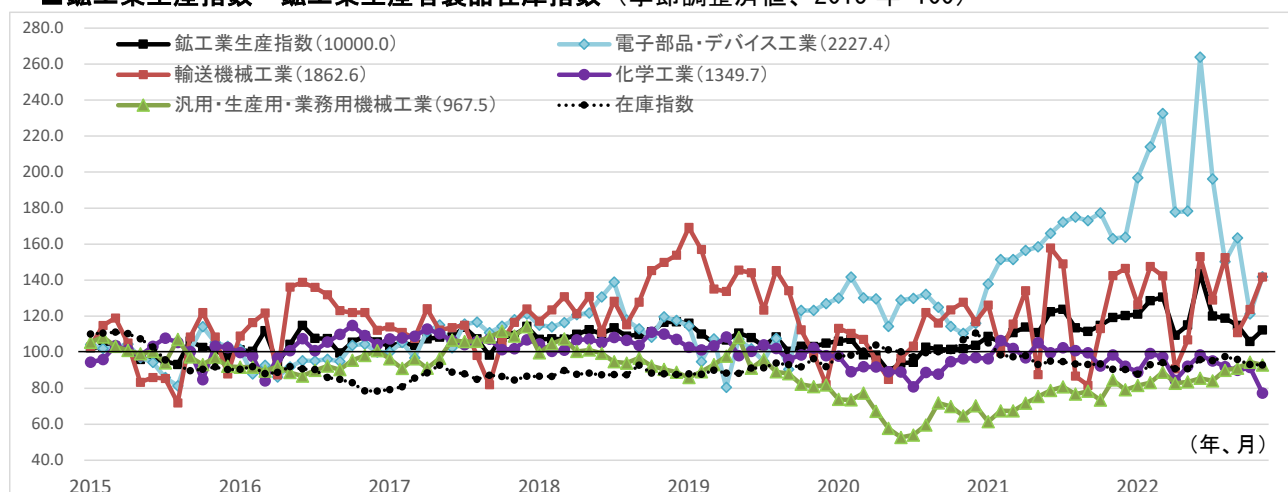
資料：当社「景況調査」（22年7月、461社）、東海財務局津財務事務所「法人企業景気予測調査」（22年11月、112社）

2. 生産

【現状】＜足踏み＞

- 11月の鉱工業生産指数（季調済）は112.3で、前月比+6.0%と5か月ぶりの上昇、原数値は120.8で前年比△5.8%と2か月連続の低下となった。
- 生産指数を業種別にみると、電子部品・デバイスは前月比では+17.0%と2か月ぶりの上昇、前年比は4か月連続の低下。輸送機械は前月比+14.5%と2か月連続の上昇、前年比は4か月ぶりの低下となった。その他、プラスチック製品が前月比+10.1%上昇した。汎用・生産用・業務用機械は前月比低下したものの、前年比は20か月連続で上昇。化学は前月比・前年比ともに低下となった。輸送機械では、ホンダ鈴鹿製作所の稼働率が部品入荷や物流遅延等の影響で、10月は約8割だが、11月から1月は通常稼働の見込み。電子部品・デバイスでは、キオクシアが需要減による生産調整のため、10月から当面の間、フラッシュメモリの生産を約3割減らす見込み。

■鉱工業生産指数・鉱工業生産者製品在庫指数（季節調整済値、2015年=100）



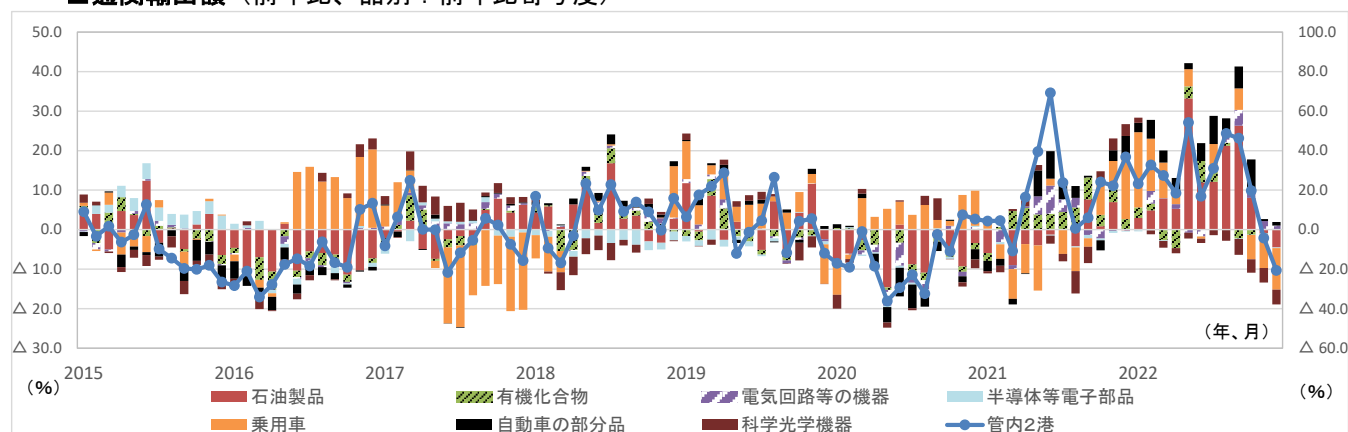
※資料：三重県「三重県鉱工業指数」

3. 輸出

【現状】＜足踏み＞

- 12月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比△20.6%と2か月連続の減少、主要港である四日市港は△24.1%となった。
- 四日市港の輸出主要品別にみると、映像機器、電気回路等の機器、自動車の部分品などが増加したものの、乗用車、科学光学機器、石油製品、プラスチックなどの化学製品などが減少に寄与した。

■通関輸出額（前年比、品別：前年比寄与度）



※折れ線グラフは県内2港の前年比。棒グラフは四日市港の主要品目の前年比増減寄与度。

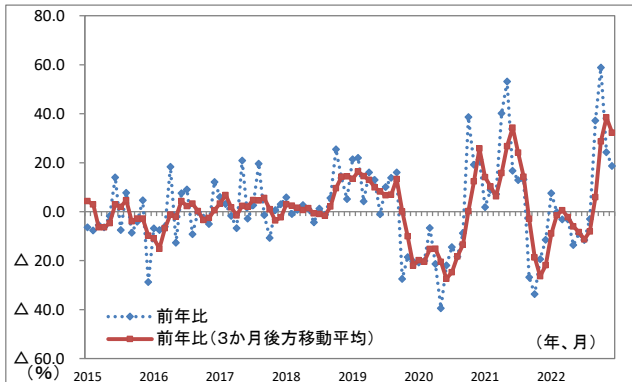
資料：四日市税関支署「管内貿易概況」

4. 設備投資

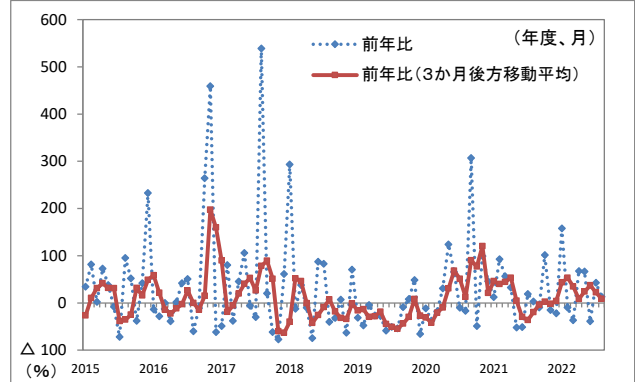
【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

- 12月の貨物車新車登録・販売台数（普通＋小型＋軽）は前年比＋18.7%となり、4か月連続の増加となった。普通貨物（＋28.5%）と小型貨物（＋27.0%）はいずれも3か月連続の増加、軽貨物（＋12.7%）は5か月連続の増加となった。
- 11月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比＋13.0%と2か月連続の増加となった。
- 9月の地域別民間企業設備投資総合指数は、前年比2か月連続の上昇となった。
- 当社景況調査（7月実施）では、22年度上期の設備投資実施（見込み）企業割合は45.7%となり、コロナ感染拡大前の19年度下期（44.7%）を上回る水準となった。22年度下期は47.9%と上昇の見通し。

■貨物車新車登録・販売台数（普通・小型・軽、前年比）

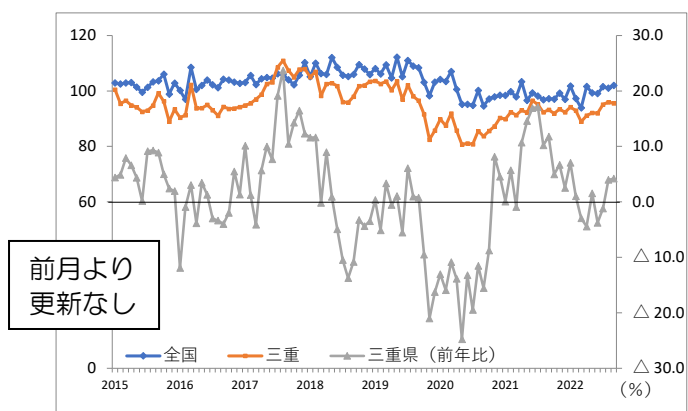


■民間非居住用建築物着工床面積（前年比）

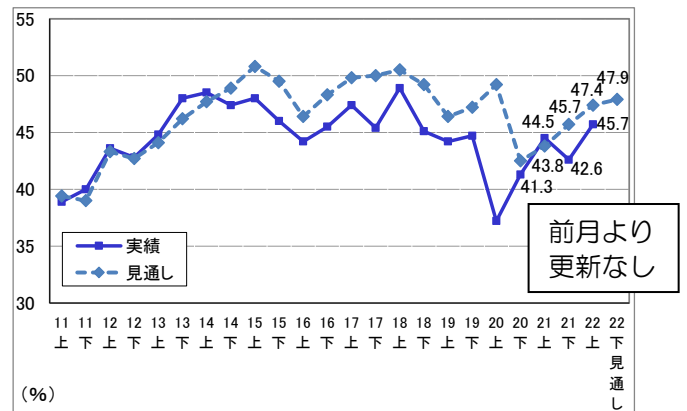


※資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会／国土交通省「建築物着工統計」

■地域別民間企業設備投資総合指数（季節調整済値）



■設備投資実施企業の割合（当社景況調査）



※地域別民間企業設備投資総合指数の三重県は参考値。前年比は原数値による。公表は四半期ごと。

※資料：内閣府「地域別支出総合指数」／当社「景況調査」（2022年7月調査、投資額500万円以上）

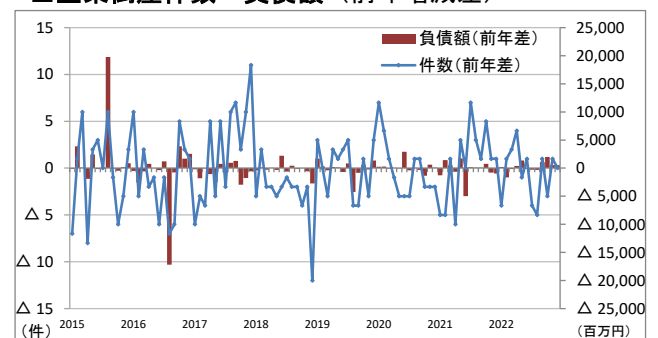
5. 企業倒産

【現状】＜横ばい圏内となっている＞

- 12月の企業倒産件数は7件（前年と同数値）、負債額は14億15百万円（前年差＋5億23百万円）となった。22年1月からの累計では、件数は6か月連続の減少、負債額は4か月連続の増加となった。

※負債額1,000万円以上 資料：(株)東京商工リサーチ

■企業倒産件数・負債額（前年増減差）

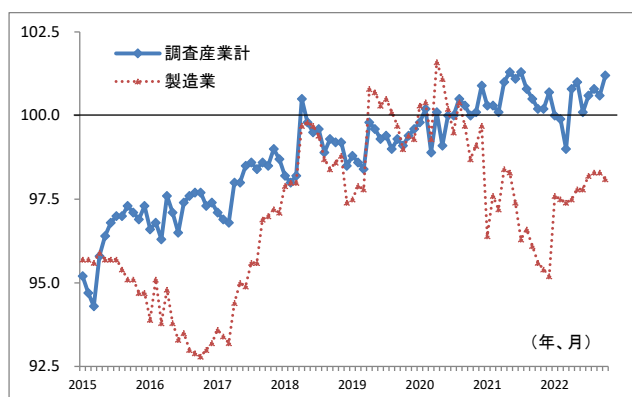


6. 雇用

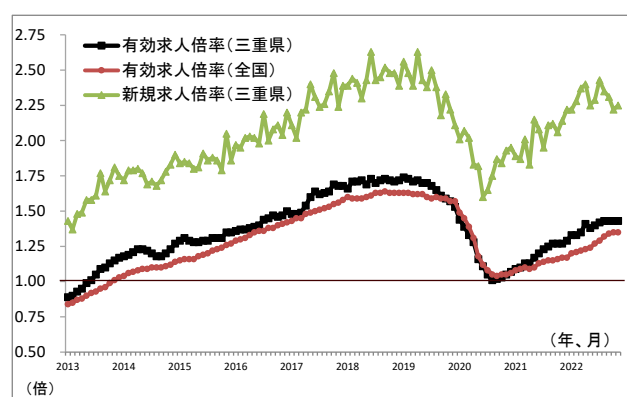
【現状】＜持ち直している＞

- 10月の常用雇用指数は101.2で、前年比+1.0となり、2か月連続の上昇となった。製造業は98.1で前年比+2.6%となり、5か月連続の上昇となった。
- 11月の有効求人倍率（季調済）は1.43倍で、前月と同数値となり、全国を24か月連続で上回った。有効求人数（原数値）は前年比+6.5%で19か月連続の増加、有効求職者数（原数値）は△3.8%で17か月連続の減少となった。
- 11月の正社員有効求人倍率（原数値）は1.16倍と、19か月連続で前年を上回り、13か月連続で1倍以上となった。
- 11月の新規求人数（原数値）を産業別にみると、運輸業、郵便業は前年比7か月ぶりの減少、サービス業（他に分類されないもの）は2か月ぶりの減少、製造業は5か月ぶりの減少、建設業は3か月ぶりの減少、卸売業、小売業は2か月ぶりの減少となったが、医療、福祉は2か月ぶりの増加、宿泊業、飲食サービス業は2か月ぶりの増加となった。

■常用雇用指数（2020年=100）



■有効求人倍率・新規求人倍率（季節調整済値）

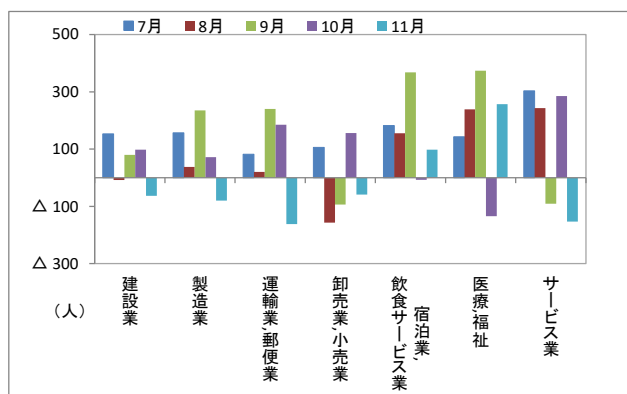


※常用雇用指数は、雇われて就業している者の数（正社員＋パートタイム労働者）を指数化したもの
 ※求人倍率は、新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。公共職業安定所への登録分。
 資料：三重県「毎月勤労統計調査」、三重労働局「一般職業紹介状況」

■有効求人数・有効求職者数（原数値、前年比）



■新規求人数（主要産業別）（原数値、前年増減差）



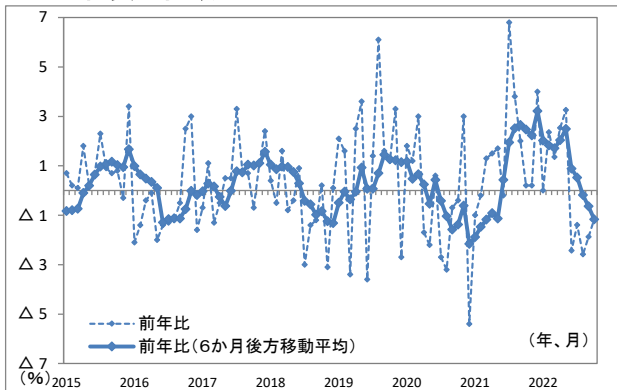
※新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。
 ※サービス業は他に分類されないもの
 資料：三重労働局「一般職業紹介状況」

7. 賃金

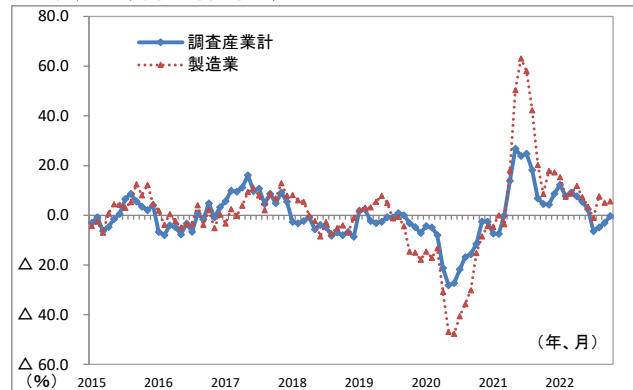
【現状】＜足踏み＞

- 10月の名目賃金指数（現金給与総額）は、調査産業計が前年比 $\Delta 1.2\%$ となった。6か月後方移動平均（ $\Delta 1.2\%$ ）は3か月連続の低下となった。
- 10月の所定外労働時間指数は、調査産業計が前年比 $\Delta 0.3\%$ で4か月連続の低下、製造業は前年比 $+5.7\%$ で3か月連続の上昇となった。

■名目賃金指数（現金給与総額、前年比）



■所定外労働時間指数（前年比）



※事業所規模5人以上、2020年=100

※現金給与総額は、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計。

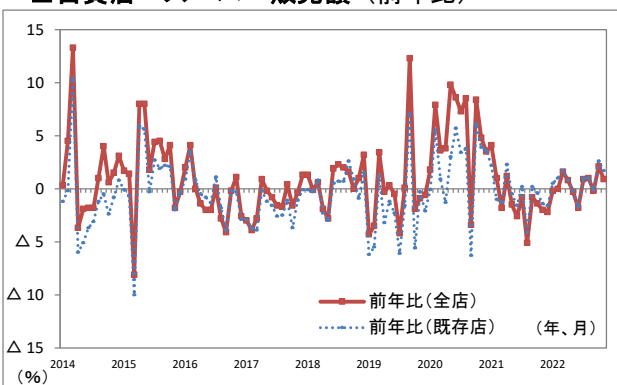
資料：三重県「毎月勤労統計調査」

8. 個人消費

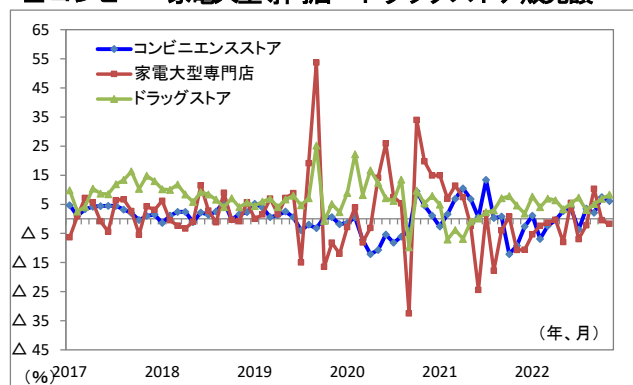
【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

- 11月の百貨店・スーパー販売額は、全店（前年比 $+0.9\%$ ）、既存店（ $+1.7\%$ ）ともに2か月連続の増加となった。
- 11月のコンビニエンスストア販売額（ $+6.1\%$ ）は前年比4か月連続の増加、ドラッグストア販売額（ $+8.3\%$ ）は18か月連続の増加となったが、家電大型専門店販売額（ $\Delta 1.7\%$ ）は2か月連続の減少、ホームセンター販売額（ $\Delta 1.6\%$ ）は2か月ぶりの減少となった。
- 12月の乗用車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）（ $+2.9\%$ ）は前年比4か月連続の増加となった。普通（ $\Delta 4.1\%$ ）と小型（ $\Delta 13.2\%$ ）は4か月ぶりの減少となったが、軽（ $+21.4\%$ ）は4か月連続の増加となった。
- 11月の家計消費支出（津市・勤労者世帯）（ $\Delta 22.2\%$ ）は前年比3か月ぶりの減少となった。
- 12月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、津市）は、前年比 $+4.6\%$ の上昇となった。

■百貨店・スーパー販売額（前年比）



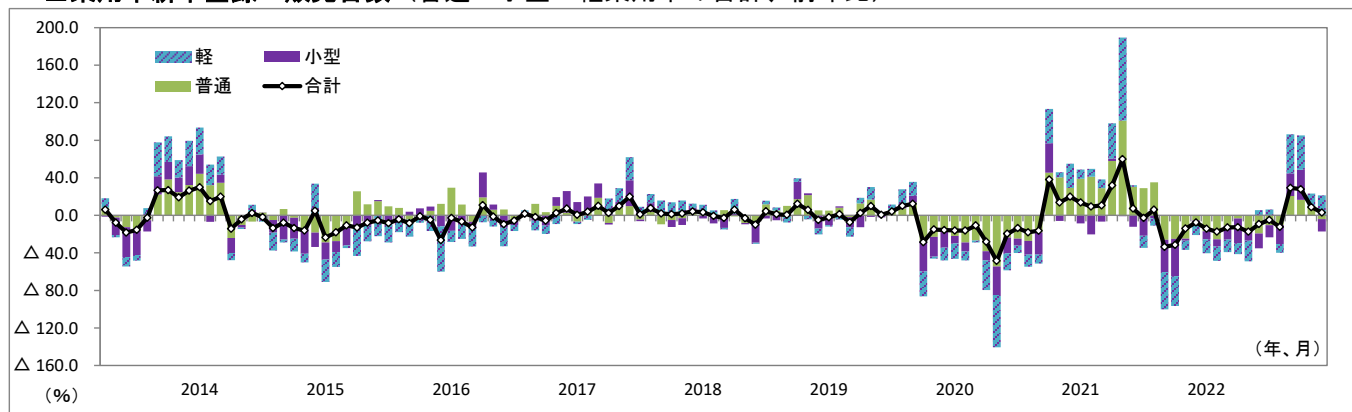
■コンビニ・家電大型専門店・ドラッグストア販売額



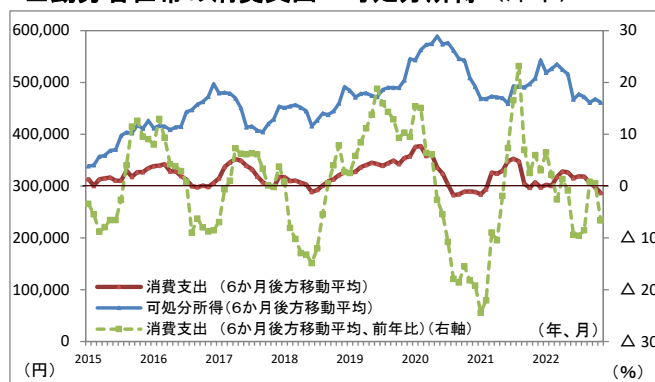
※既存店とは、調査対象事業所の定義変更及び異動（開店、廃業）があった場合、当月及び前年同月とも調査の対象となった事業所をいい、前年同月比の算出はその事業所のみで行っている。

資料：経済産業省「商業動態統計」

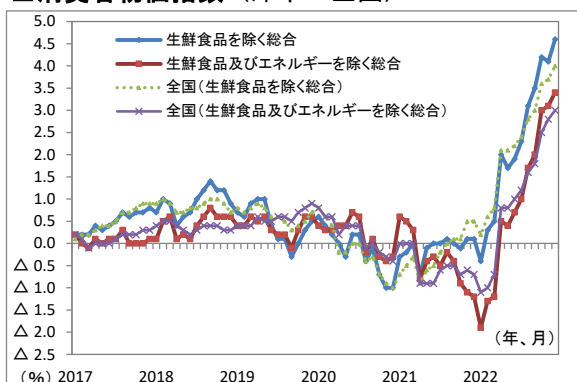
■乗用車新車登録・販売台数（普通・小型・軽乗用車の合計、前年比）



■勤労者世帯の消費支出・可処分所得（津市）



■消費者物価指数（津市・全国）

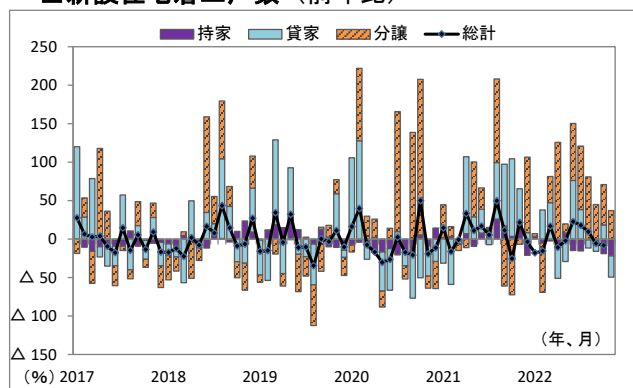


9. 住宅投資

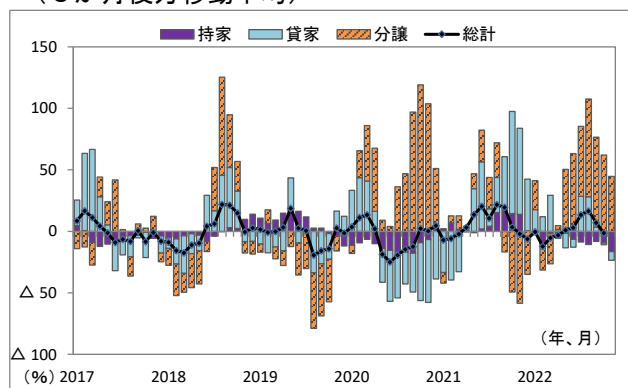
【現状】＜足踏み＞

○11月の新設住宅着工戸数は、前年比△18.6%で3か月連続の減少、3か月後方移動平均では2か月連続の減少となった。持家（△21.9%）は前年比6か月連続の減少、貸家（△27.6%）は2か月ぶりの減少となったが、分譲（+37.0%）は9か月連続の増加となった。床面積（△19.9%）は3か月連続の減少となった。

■新設住宅着工戸数（前年比）



（3か月後方移動平均）



※総計は、持家、貸家、分譲、給与住宅の合計

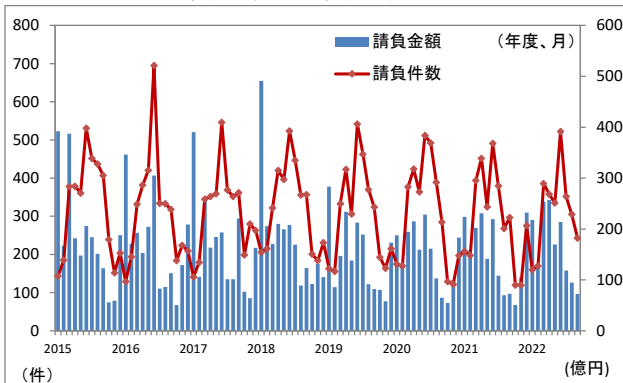
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

10. 公共投資

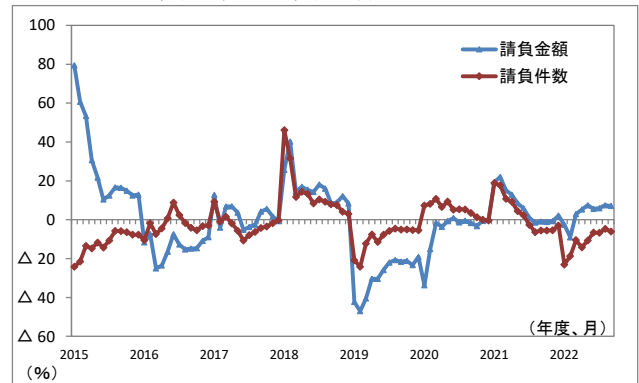
【現状】＜持ち直している＞

- 12月の公共工事請負件数は前年比△18.2%の減少、請負金額は△0.5%の減少となったが、請負金額の年度累計（22年4月～12月）では7か月連続の増加となった。
- 年度累計の請負金額について、発注者別にみると、国土交通省（△34.1%）、県農林水産部（△6.5%）などが減少したが、中日本高速道路株（+129.0%）、港管理組合（+281.9%）、県県土整備部（+7.9%）などは増加した。工事場所別では、熊野市、伊賀市、川越町などでは減少したが、四日市市、いなべ市、鈴鹿市などは増加した。

■公共工事請負件数・請負金額



■公共工事請負件数・請負金額（年度累計・前年比）



※前払金保証取扱高（工事場所ベース：工事場所が三重県であったもの）

※発注者：国、独立行政法人、県、市町、地方公社、その他

資料：東日本建設業保証㈱

＜トピックス＞

- ◆ 三重県は、災害応急対策の円滑な実施と地域防災力の向上を図ることを目的に、災害時の社会基盤応急復旧の協力を担うべき建設企業における事業継続計画（BCP）の策定を促進するため、「建設企業における災害時の事業継続登録制度（三重県建設BCP登録制度）」を創設。三重県県土整備部が、建設企業が備えている事業継続計画を評価し、評価基準に適合した建設企業を登録・公表する。1月4日から登録申請の受付を開始した。基準に適合した建設企業には、原則3年間の有効期限をもつ登録確認証が発行され、総合評価方式による土木一式工事発注の一部で加点対象となる。
- ◆ 近畿日本鉄道㈱（大阪）は1月12日、伊勢志摩地域におけるサイクルツーリズムの機運を高めることを目的に、観光列車「つどい」の2号車に取り外し可能なサイクルスタンドを設置し、車内に自転車を積載できる『観光列車「つどい」サイクルトレイン-KettA-』を運行すると発表。春や秋を中心に運行し、今春以降の本格的な運行開始を前に3月4日・5日に無料試乗会を開催予定。
- ◆ 三重県が1月14日に発表した、正月三が日の県内主要観光施設（22施設）の観光入込客数は約94万人となり、前年の約84万人から約1割増加した。3年ぶりに行動制限がなく、晴天に恵まれたことなどが影響。比較可能な20施設でみると、2022年比では+6.8%となったが、改元後初の正月となった2020年と比較すると約3割減となった。
- ◆ 津市榑原温泉にある神湯館が、温泉とeスポーツ設備を備えた「スパスポ神湯館」として2月1日にリニューアルオープン予定。50人程の観客を収容でき、大型モニターを備えたeスポーツ用のスタジアムを整備したほか、一部客室をドライビングシミュレーターなどが楽しめるトレーニングルームに改装。大容量通信設備を備え、オンライン対戦や配信も可能。神湯館は1973年に県の福利厚生施設として開設され、2016年に馬渕商事（東京）が購入。

三重県主要経済指標

	景気動向指数C I (先行) (2015年=100)		景気動向指数C I (一致) (2015年=100)		業況判断BSI (年度半期)			景況判断BSI (年度四半期)	鉱工業生産指数 (2015年=100)		鉱工業在庫指数 (2015年=100)	
	前月差		前月差		製造業		非製造業		*1 *2	前月比	*1 *2	前月比
2020年	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	△ 6.2	101.4	△ 11.6
2021年	—	—	—	—	—	—	—	—	114.8	14.9	95.3	-6.1
2022年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21年 3月	102.9	2.3	87.7	4.6	△ 49.2	△ 50.0	△ 45.1	△ 25.0	110.9	5.0	97.4	△ 1.1
4月	103.5	0.6	88.3	0.6	—	—	—	—	113.9	2.7	98.1	0.7
5月	102.9	△ 0.6	86.5	△ 1.8	—	—	—	—	110.8	△ 2.7	93.1	△ 5.1
6月	103.7	0.8	91.7	5.2	2.0	10.3	△ 2.4	△ 19.7	122.5	10.6	95.0	2.0
7月	103.5	△ 0.2	95.4	3.7	—	—	—	—	123.8	1.1	94.7	△ 0.3
8月	103.2	△ 0.3	92.9	△ 2.5	—	—	—	—	113.5	△ 8.3	93.4	△ 1.4
9月	103.2	0.0	88.9	△ 4.0	—	—	—	—	111.5	△ 1.8	93.2	△ 0.2
10月	105.5	2.3	91.8	2.9	—	—	—	—	114.9	3.0	93.4	0.2
11月	106.7	1.2	95.6	3.8	—	—	—	—	119.2	3.7	90.5	△ 3.1
12月	105.2	△ 1.5	97.6	2.0	△ 7.5	2.6	△ 13.2	0.8	120.3	0.9	90.4	△ 0.1
22年 1月	105.2	0.0	96.4	△ 1.2	—	—	—	—	121.1	0.7	87.8	△ 2.9
2月	104.8	△ 0.4	97.3	0.9	—	—	—	—	128.6	6.2	93.0	5.9
3月	110.5	5.7	98.9	1.6	—	—	—	—	130.6	1.6	94.2	1.3
4月	110.5	0.0	101.7	2.8	—	—	—	—	109.4	△ 16.2	90.8	△ 3.6
5月	109.8	△ 0.7	102.9	1.2	—	—	—	—	115.1	5.2	90.7	△ 0.1
6月	112.9	3.1	105.1	2.2	△ 3.3	△ 12.9	2.7	△ 6.2	143.7	24.8	95.8	5.6
7月	109.0	△ 3.9	104.0	△ 1.1	—	—	—	—	120.1	△ 16.4	95.3	△ 0.5
8月	106.6	△ 2.4	105.6	1.6	—	—	—	—	118.9	△ 1.0	97.5	2.3
9月	105.7	△ 0.9	102.4	△ 3.2	—	—	—	—	114.9	△ 3.4	95.9	△ 1.6
10月	103.6	△ 2.1	101.7	△ 0.7	—	—	—	—	105.9	△ 7.8	93.1	△ 2.9
11月	—	—	—	—	△ 5.2	△ 12.4	1.6	8.0	112.3	6.0	92.9	△ 0.2
12月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資料出所	三重県戦略企画部統計課				株式会社百五総合研究所			津財務事務所	三重県戦略企画部統計課			

	輸 出 (億円)		輸 入 (億円)		貨物車販売				非居住用建築物 着工床面積		企業倒産 *4	
	*3	前年比	*3	前年比	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(㎡)	前年比	件数 (件)	負債額 (百万円)
2020年	7,723	△ 14.9	11,463	△ 30.9	5,162	△ 14.8	8,107	△ 5.7	773,702	24.4	66	14,125
2021年	9,094	17.8	16,061	40.1	5,406	4.7	8,064	△ 0.5	782,678	1.2	72	10,192
2022年	11,034	21.3	26,481	64.9	5,222	△ 3.4	9,111	13.0	—	—	65	13,716
21年 3月	738	△ 10.8	1,261	△ 2.8	664	2.5	949	10.7	45,805	45.5	5	688
4月	757	16.5	1,280	35.8	445	18.4	751	57.4	63,922	12.0	1	170
5月	609	39.5	1,107	75.8	366	31.7	683	67.8	51,547	92.6	6	2,173
6月	803	69.2	944	37.1	478	22.6	709	13.1	77,954	56.0	4	305
7月	734	23.7	1,036	34.0	482	25.5	753	6.1	74,719	32.3	10	705
8月	607	0.6	1,664	92.3	461	25.3	589	5.2	34,566	△ 52.2	7	582
9月	711	6.0	1,519	62.3	494	△ 10.8	498	△ 37.8	42,611	△ 51.4	5	221
10月	835	24.1	1,312	44.7	384	△ 15.4	442	△ 44.1	53,856	18.8	12	1,246
11月	926	22.2	1,696	117.4	422	△ 11.9	675	△ 23.4	48,426	2.8	5	239
12月	1,043	36.8	1,950	99.7	385	△ 11.5	574	△ 11.4	188,982	△ 10.1	7	892
22年 1月	836	23.2	1,628	60.3	411	20.5	688	1.0	53,536	101.1	2	860
2月	865	32.7	1,944	52.3	404	△ 16.5	838	10.3	62,322	△ 15.4	5	670
3月	940	27.4	1,738	37.8	609	△ 8.3	953	0.4	35,592	△ 22.3	7	538
4月	898	18.5	2,280	78.1	421	△ 5.4	737	△ 1.9	164,841	157.9	5	541
5月	939	54.2	2,144	93.6	375	2.5	531	△ 22.3	46,444	△ 9.9	5	3,542
6月	939	16.9	2,148	127.5	457	△ 4.4	624	△ 12.0	49,353	△ 36.7	5	168
7月	962	31.0	2,340	125.9	367	△ 23.9	725	△ 3.7	125,027	67.3	6	417
8月	903	48.6	2,982	79.2	339	△ 26.5	680	15.4	57,558	66.5	2	277
9月	1,040	46.3	2,682	76.6	447	△ 9.5	914	83.5	25,917	△ 39.2	6	1,285
10月	1,000	19.7	2,230	70.0	435	13.3	877	98.4	76,852	△ 42.7	9	3,229
11月	886	△ 4.3	2,000	18.0	466	10.4	897	32.9	54,709	13.0	6	774
12月	828	△ 20.6	2,367	21.5	491	27.5	647	12.7	—	—	7	1,415
資料出所	四日市税関支署(四日市港、津波の合計)				三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		国土交通省		株式会社東京商工リサーチ	

	常用雇用指数 *5				有効						新規求人 倍率	名目賃金指数 *5 (現金給与総額)	
	調査産業計		製造業		求人倍率 *1*2 (倍)	求人数		求職者数		*1*2 (倍)		*11	
	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比		*6 (人)	前年比	*6 (人)	前年比				
2020年	100. 0	0. 8	100. 0	0. 6	1. 16	28, 953	△ 23. 4	24, 984	9. 5	1. 87	100. 0	△ 1. 0	
2021年	100. 7	0. 7	96. 7	△ 3. 3	1. 20	30, 173	4. 2	25, 133	0. 6	2. 02	101. 9	1. 9	
2022年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
21年 3月	100. 1	1. 2	97. 2	△ 2. 1	1. 13	30, 740	△ 7. 3	26, 396	9. 7	2. 01	88. 7	1. 3	
4月	101. 0	0. 9	98. 4	△ 3. 2	1. 13	28, 975	△ 0. 6	27, 566	12. 9	1. 83	86. 9	1. 5	
5月	101. 3	2. 2	98. 3	△ 2. 7	1. 17	28, 855	12. 8	26, 900	11. 2	2. 15	86. 0	1. 7	
6月	101. 1	1. 1	97. 4	△ 2. 9	1. 20	28, 837	11. 5	26, 068	3. 2	2. 08	131. 8	△ 0. 2	
7月	101. 3	1. 3	96. 3	△ 3. 2	1. 23	29, 178	11. 8	24, 473	△ 4. 8	1. 95	129. 1	6. 8	
8月	100. 8	0. 3	96. 6	△ 3. 8	1. 25	30, 019	14. 7	24, 351	△ 7. 2	2. 11	89. 2	3. 8	
9月	100. 5	0. 2	96. 1	△ 3. 5	1. 27	30, 201	11. 4	23, 984	△ 10. 7	2. 12	85. 4	2. 0	
10月	100. 2	0. 2	95. 6	△ 3. 1	1. 27	31, 469	12. 0	24, 780	△ 9. 3	2. 06	86. 0	0. 2	
11月	100. 2	0. 1	95. 4	△ 3. 7	1. 27	32, 862	12. 9	24, 504	△ 6. 1	2. 14	93. 4	0. 2	
12月	100. 7	△ 0. 2	95. 2	△ 4. 4	1. 29	32, 914	15. 4	23, 463	△ 4. 2	2. 22	175. 8	4. 0	
22年 1月	100. 0	△ 0. 3	97. 6	1. 2	1. 33	34, 213	19. 1	23, 824	△ 1. 8	2. 22	85. 9	0. 0	
2月	99. 9	△ 0. 4	97. 5	△ 0. 1	1. 33	34, 788	18. 7	24, 481	△ 1. 5	2. 28	86. 8	2. 4	
3月	99. 0	△ 1. 1	97. 4	0. 2	1. 35	35, 883	16. 7	25, 740	△ 2. 5	2. 37	89. 9	1. 4	
4月	100. 8	△ 0. 2	97. 5	△ 0. 9	1. 41	34, 436	18. 8	26, 329	△ 4. 5	2. 40	89. 1	2. 5	
5月	101. 0	△ 0. 3	97. 8	△ 0. 5	1. 38	33, 347	15. 6	26, 439	△ 1. 7	2. 25	88. 8	3. 3	
6月	100. 1	△ 1. 0	97. 8	0. 4	1. 40	33, 493	16. 1	25, 728	△ 1. 3	2. 29	128. 6	△ 2. 4	
7月	100. 6	△ 0. 7	98. 2	2. 0	1. 42	32, 985	13. 0	24, 083	△ 1. 6	2. 43	127. 3	△ 1. 4	
8月	100. 8	0. 0	98. 3	1. 8	1. 43	33, 316	11. 0	23, 866	△ 2. 0	2. 35	86. 9	△ 2. 6	
9月	100. 6	0. 1	98. 3	2. 3	1. 43	33, 985	12. 5	23, 899	△ 0. 4	2. 31	83. 8	△ 1. 9	
10月	101. 2	1. 0	98. 1	2. 6	1. 43	34, 699	10. 3	24, 251	△ 2. 1	2. 22	85. 0	△ 1. 2	
11月	—	—	—	—	1. 43	35, 012	6. 5	23, 561	△ 3. 8	2. 25	—	—	
12月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
資料出所	三重県戦略企画部統計課				三重労働局職業安定課								

*1：月別の数値は季節調整済値

*2：年数値については原指数、前年比

*3：2017年1月から、四日市港には四日市税関支署尾鷲出張所の通関分を含む。

*4：負債額1千万円以上 *5：事業所規模5人以上 *6：年数値は年間の月平均

*7：既存店とは当月及び前年同月とも調査対象となった事業所

*8：前年(度、同期、同月)比増減率はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している

*9：「家計調査」により津市において調査した世帯(単身世帯を除く)の1か月間の家計消費の状況(平均)。標本数が少ないため標本誤差が大きく、前年や全国の結果との比較の際には注意が必要。

*10：官公庁工事請負額の年数値は年度計

三重県主要経済指標

	所定外労働時間指数 *5				百貨店・スーパー販売額		乗用車販売				消費支出 *9	
	調査産業計		製造業		*7 *8 (百万円)	前年比 (既存店)	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(津市、二人以上の世帯のうち 勤労者世帯)	
	(2020年=100)	前年比 *11	(2020年=100)	前年比 *11			(台)	前年比	(台)	前年比	(円)	前年比
2020年	100.0	△ 13.6	100.0	△ 25.5	303,980	2.3	44,665	△ 12.7	29,265	△ 9.7	306,464	△ 12.5
2021年	108.6	8.6	119.9	19.8	306,526	△ 0.7	45,510	1.9	28,713	△ 1.9	322,726	5.3
2022年	—	—	—	—	—	—	42,059	△ 7.6	28,780	0.2	—	—
21年 3月	111.0	0.0	124.7	△ 3.5	24,498	△ 1.3	6,278	11.4	3,993	9.5	507,603	66.3
4月	109.9	13.9	117.8	18.1	24,378	2.3	3,383	28.2	2,456	37.4	326,312	5.8
5月	100.3	26.8	108.0	50.4	25,579	△ 0.5	3,104	44.8	2,104	88.4	289,358	14.0
6月	105.1	23.9	117.1	63.1	25,403	△ 1.6	3,768	10.8	2,183	1.7	383,244	38.0
7月	111.9	24.8	125.5	58.1	25,579	0.2	3,858	4.2	2,227	△ 12.9	283,602	△ 0.0
8月	107.1	18.2	114.0	42.3	25,980	△ 4.1	3,347	16.5	2,026	△ 7.8	296,866	11.8
9月	105.1	6.8	111.7	20.3	24,774	0.2	3,114	△ 29.5	1,837	△ 39.8	245,170	△ 22.3
10月	109.0	4.6	114.0	8.6	25,005	△ 0.4	2,858	△ 31.3	1,781	△ 31.7	281,258	△ 17.2
11月	117.7	4.3	133.7	17.9	25,183	△ 1.4	3,497	△ 16.7	2,265	△ 9.7	352,410	37.4
12月	120.6	8.7	137.4	17.3	29,800	△ 1.6	3,661	△ 4.7	2,055	△ 12.2	325,966	20.0
22年 1月	111.5	12.3	126.5	15.4	26,490	0.5	3,486	△ 13.8	2,256	△ 14.9	312,257	22.5
2月	114.4	7.7	134.1	7.5	23,796	1.0	3,727	△ 18.9	2,657	△ 15.3	285,631	△ 12.4
3月	121.2	9.2	135.6	8.7	24,895	1.7	5,488	△ 12.6	3,459	△ 13.4	348,408	△ 31.4
4月	118.3	7.6	131.8	11.9	24,565	0.8	2,936	△ 13.2	2,171	△ 11.6	344,361	5.5
5月	105.8	5.5	115.9	7.3	25,510	△ 0.2	2,660	△ 14.3	1,640	△ 22.1	342,444	18.3
6月	107.7	2.5	121.2	3.5	24,953	△ 1.7	3,089	△ 18.0	2,306	5.6	258,161	△ 32.6
7月	104.8	△ 6.3	124.2	△ 1.0	25,820	1.0	3,418	△ 11.4	2,368	6.3	334,962	18.1
8月	101.9	△ 4.9	122.7	7.6	26,233	1.0	2,868	△ 14.3	1,835	△ 9.4	280,685	△ 5.5
9月	101.9	△ 3.0	117.4	5.1	24,733	△ 0.1	3,797	21.9	2,603	41.7	279,377	14.0
10月	108.7	△ 0.3	120.5	5.7	25,538	2.6	3,497	22.4	2,432	36.6	292,834	4.1
11月	—	—	—	—	25,419	1.7	3,704	5.9	2,559	13.0	274,290	△ 22.2
12月	—	—	—	—	—	—	3,389	△ 7.4	2,494	21.4	—	—
資料出所	三重県戦略企画部統計課				経済産業省		三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		総務省統計局	

	新設住宅着工戸数		公共工事請負金額		消費者物価指数			
	(戸)		(億円)		(津市・生鮮食品を除く総合)		(津市・生鮮食品及びエネルギーを除く総合)	
	前年比		*10	前年度比	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比
2020年	9,558	△ 5.9	1,777	0.1	100.0	△ 0.2	100.0	0.1
2021年	10,203	6.7	1,815	2.2	99.9	△ 0.1	99.6	△ 0.4
2022年	—	—	—	—	102.2	2.3	100.6	0.9
21年 3月	817	△ 0.8	183	5.6	100.4	0.0	100.5	0.3
4月	923	33.2	224	19.3	99.6	△ 0.7	99.5	△ 0.8
5月	743	11.1	158	26.1	99.9	△ 0.1	99.7	△ 0.4
6月	838	16.7	202	4.1	99.9	0.0	99.6	△ 0.3
7月	883	5.2	231	7.4	100.1	0.0	99.7	△ 0.5
8月	925	49.7	141	△ 11.5	100.0	0.1	99.6	△ 0.2
9月	910	11.2	219	△ 3.9	99.8	0.0	99.3	△ 0.4
10月	903	△ 25.4	108	△ 33.1	99.6	△ 0.1	98.9	△ 0.9
11月	919	21.6	70	△ 32.0	99.8	0.1	98.9	△ 1.1
12月	770	△ 3.5	73	12.0	99.8	0.1	98.9	△ 1.2
22年 1月	669	△ 17.9	51	△ 6.9	99.7	△ 0.4	98.7	△ 1.9
2月	640	△ 15.5	105	6.0	100.4	0.3	99.1	△ 1.3
3月	954	16.8	232	26.8	100.9	0.5	99.3	△ 1.2
4月	824	△ 10.7	218	△ 2.6	101.6	2.0	100.1	0.5
5月	727	△ 2.2	130	△ 18.1	101.6	1.7	100.0	0.4
6月	1,029	22.8	254	25.4	101.9	1.9	100.3	0.7
7月	1,041	17.9	257	11.4	102.4	2.3	100.8	1.0
8月	1,013	9.5	170	20.1	103.1	3.1	101.4	1.7
9月	857	△ 5.8	214	△ 2.5	103.2	3.5	101.3	2.0
10月	829	△ 8.2	119	9.6	103.8	4.2	101.8	3.0
11月	748	△ 18.6	95	35.3	103.9	4.1	102.0	3.1
12月	—	—	72	△ 0.5	104.4	4.6	102.2	3.4
資料出所	国土交通省		東日本建設業保証協		総務省統計局			